



## 12月定例会 12月2日～12月19日

### 主な内容

- 特集 議会報告会 …………… 2
- 定例会・議案の内容 …………… 4
- 一般質問 …………… 6
- 委員会審査…………… 14
- 議案質疑…………… 15
- 議会の動き…………… 16
- 張家港市訪問…………… 17
- 審議結果…………… 18
- 丸亀城復旧復興特別委員会… 19
- こちら編集室・編集後記 …… 20



### 「議会報告会・意見交換会」

総務委員会、教育民生委員会、都市環境委員会の3常任委員会が、1年間の活動報告とそれぞれのテーマに沿った意見交換会を行いました。



## 都市環境委員会

各コミュニティの代表の方と、グループワークを通して話し合いました。

### 意見交換会テーマ ▶ 市内公共交通

- ◎コミュニティバスのバス停に、暑さ・寒さや雨風対策をしてほしい。
- ◎モデル事業としてデマンドタクシーが運行されているが、運転手が足りない。
- ◎コミュニティバスの停留所が遠いため、乗降がフリーになると良い。
- ◎デマンドタクシーはタクシー業者などと連携を図り、利用者や企業に有益になると良い。
- ◎近隣市町への通院や混雑する時間帯にも対応してほしい。



## 教育民生委員会

子育て中の保護者や学校関係者、民生委員、主任児童委員などから、考えをお聞きしました。

### 意見交換会テーマ ▶ 子ども条例

- ◎子どものための良い環境づくりにどう生かすのか。見通しを持った施策を考え、実施していくことが大切である。
- ◎丸亀の独自性やこれまでの取り組みが反映され、子どもや子育て家庭にとって意義のある条例になることを期待している。
- ◎子ども条例の制定主旨が分かった。市として条例を制定することで市の主体性を出すということで理解した。
- ◎子どもたちのことを皆さんが大切に思っていることがよくわかった。
- ◎特色ある子ども条例を期待している。





# 議会報告会・ 意見交換会2019

令和最初の議会報告会・意見交換会を11月7日、8日、18日、20日に開催しました。  
4日間で約200人の方から、様々なご意見をお聞きすることができました。

## 議会報告会とは…

平成24年に制定した「議会基本条例」の中で、議会報告会を開催することが定められています。市議会が「開かれた議会」となることを目的に、審議した事項や活動の報告をするものです。

## 意見交換会とは…

議員が市民の皆さんと意見を交わし、今何が求められているのか、今後何を訴えていくべきなのかを知り、市議会がやるべきことや方向性を見出すためのものです。

## 総務委員会

消防団員としてご活躍の皆さんから、ご意見をいただきました。

### 意見交換会テーマ ▶ 消防団活動

- ◎新しい団員の勧誘やPRに使えるポスター・パンフレット類を作成してほしい。
- ◎避難行動に支援が必要な方の名簿を提供してもらえず苦慮している。
- ◎団員の年齢層が高くなってきた。定年制の見直しなど、団員確保のための策が必要。
- ◎消防団の活動や存在意義を、若い人や子どもたちに知ってもらいたい。
- ◎団員の99%はサラリーマンなので、企業の理解が得られるよう、働きかけてほしい。



# 12月定例会

12月2日～12月19日(18日間)

- 12月2日(初日)
- ・ 議案第70号～議案第94号
- 提案理由の説明

- 12月4日
- ・ 議案第70号～議案第94号
- 質疑の後、各常任委員会に付託

- 12月5日
- ・ 一般質問

- 12月6日
- ・ 一般質問

- 12月9日
- ・ 一般質問

- 12月10日
- ・ 一般質問

- 12月11日
- ・ 総務委員会
- ・ 都市環境委員会

- 12月12日
- ・ 教育民生委員会

- 12月19日(最終日)
- ・ 議案第70号～議案第94号
- 常任委員会委員長報告・討論・採決
- ・ 議案第95号・議案第96号
- 質疑・討論・採決
- 議員提出議案第1号
- 質疑・討論・採決

## 議案の内容

- ▼ 議案第70号 令和元年度丸亀市一般会計補正予算(第3号)

歳入歳出それぞれ2604万7千円を追加し、予算総額509

- ▼ 議案第71号 令和元年度丸亀市公共下水道特別会計補正予算(第1号)

億6461万9千円とするもの。歳入歳出それぞれ620万円を追加し、予算総額38億3120万円とするもの。

- ▼ 議案第72号 令和元年度丸亀市駐車場特別会計補正予算(第1号)

指定管理料の後年度の負担限度額を定めるもの。

- ▼ 議案第73号 令和元年度丸亀市介護保険特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出それぞれ169万4千円を追加し、予算総額を91億667万3千円とするもの。

- ▼ 議案第74号 令和元年度丸亀市介護保険サービス事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ100万円を追加し、予算総額9700万円とするもの。

- ▼ 議案第75号 令和元年度丸亀市モーターボート競走事業会計補正予算(第2号)

全国的販売促進キャンペーン費用として追加するもの。

- ▼ 議案第76号 丸亀市行政組織条例等の一部改正について

機構改革に伴い、関係条例を改正するもの。

- ▼ 議案第77号 丸亀市職員の給与に関する条例の一部改正について

- ▼ 議案第78号 丸亀市一般職の任期付職員の採用等に関する条

例の一部改正について

- ▼ 議案第79号 丸亀市市長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について

- ▼ 議案第80号 丸亀市モーターボート競走事業管理者の給与及び旅費に関する条例の一部改正について

- ▼ 議案第81号 丸亀市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について(77号から81号) 人事院勧告に準拠した改正に伴い、職員、特別職、市議会議員について所要の改正を行うもの。

- ▼ 議案第82号 丸亀市手数料条例の一部改正について

狂犬病予防注射の手数料の適正化を図るため、所要の改正を行うもの。

- ▼ 議案第83号 丸亀市下水道事業の設置等に関する条例の制定について

公営企業会計を導入するに当たり必要な事項を定めるもの。

- ▼ 議案第84号 丸亀市下水道条例の一部改正について

下水道排水設備指定工事店の指定の基準等に係る欠格条項から成年被後見人及び被保佐人を削除するなど、所要の改正を行

うもの。

▼議案第85号 丸亀市美術館条例の一部改正について

休館日を見直し、施設の利用促進を図るため、ミュージアムホールに係る使用料を減額するもの。

▼議案第86号 丸亀市モーターボート競走事業会計年度任用職員給与の種類及び基準を定める条例の制定について

▼議案第87号 丸亀市モーターボート競走事業従事員の給与の種類及び基準を定める条例の制定について

(86号・87号) 臨時・非常勤職員に関する制度が会計年度任用職員制度へと移行されるため、関係条例について所要の改廃を行うもの。

▼議案第88号 工事請負契約の締結について(丸亀市飯野コミュニティセンター改築工事)

▼議案第89号 指定管理者の指定について(丸亀市綾歌健康づくりふれあいセンター)

▼議案第90号 指定管理者の指定について(丸亀市東小川児童センターほか1施設)

▼議案第91号 指定管理者の指

定について(大手町第一駐車場ほか6施設)

▼議案第92号 指定管理者の指定について(丸亀駅南第二自転車駐車場ほか4施設)

▼議案第93号 指定管理者の指定について(丸亀市猪熊弦一郎現代美術館)

(89号から93号) 各施設における指定管理者の指定について議会の議決を求めるもの。

▼議案第94号 町及び字の区域の変更について

地籍調査に伴い、三条町字黒嶋の一部を郡家町字原に変更するため、議会の議決を求めるもの。

▼議案第95号 令和元年度丸亀市一般会計補正予算(第4号)

指定管理料の後年度の負担限度額を定めるもの。

▼議案第96号 指定管理者の指定について(丸亀市保健福祉センターほか2施設)

指定管理者の指定について議会の議決を求めるもの。

▼議員提出議案第1号 丸亀市議会議員定数条例の一部改正について

議員定数を25名から24名に変更するもの。

## 討論

### 《反対討論》 中谷真裕美

議案第70号「令和元年度丸亀市一般会計補正予算(第3号)」に  
反対

議案第76号「丸亀市行政組織条例等の一部改正について」に  
反対

**理由** 図書館の市長部局への移管は、移管後の運営形態はこれまでどおり変わらず、人的配置を増やすこともないという説明であったが、移管の目的や改善点も不明確であり、必要性が感じられない。

また、図書館は単に本がある施設ではなく、教育基本法、図書館法などに位置づけられた明確な基本理念があり、所管は教育委員会ではなくてはならない。

議案第79号「丸亀市市長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について」に反対

議案第81号「丸亀市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について」に

反対

**理由** 人事院勧告は労働基本権が制約されている公務員のための制度であるが、給与や報酬の提案などに権限のある特別職や議員は準拠するものではない。

### お詫びと訂正

11月1日発行の「議会だより」78号において、誤った表記がございました。つきましては、左記のとおり訂正させていただきますとともに、深くお詫び申し上げます。

「議会だより」78号

▼12ページ(答弁)

二段目9行目

(誤) 7防災計画

(正) 地区防災計画

▼15ページ「質疑」

二段目1行目

(誤) 給食費

(正) 保育料

▼16ページ

一段目8行目

(誤) モーターボート競走事業部

(正) ボートレース事業局

▼17ページ

三段目最後から2行目

(誤) 心配蘇生法

(正) 心肺蘇生法

以上

一般質問

# 14人の議員が市の考えを問う

質問者・項目 太字の項目は本文中に要約文を掲載

**松永 恭二**

①中央保育所と西幼稚園②城北こども園と土居保育所の統合③民営化の推進④教員の働き方改革⑤学校給食費⑥外国人の就学

**武田 孝三**

①地域課題解決に向けた社会教育の醸成②人生100年時代、持続可能な就労の機会の構築③人生100年時代、持続可能な地域づくりの支援④人生100年時代、超高齢化社会の介護予防施策の課題

**大西 浩**

①地球温暖化対策②子育て支援（ファミリーサポートセンターと児童館の充実）③住みよい丸亀市の共生社会（LGBT）

**横田 隼人**

①野外活動センター②主要八丁事業

**国方 功夫**

①亀寿園跡地の利用

**横川 重行**

①食育・健康・学校給食②医療費削減・疾病予防・検診

**福部 正人**

①アーキビストの育成②女性人材登録事業③公共施設使用料の適正な設定④公共デジタルサイネージの活用⑤男性介護者（ケアメン）への支援⑥ユニバーサルシートの設置等⑦被災地ボランティア活動支援

**真鍋 順徳**

①全国各地で発生する台風、集中豪雨等自然災害による犠牲を尊い教訓とした、本市の大規模水害への備え②公共施設等の保全と充実のための長寿命化計画等管理基準の活用による施設の計画的補修・改築・更新

**加藤 正員**

①地域公共交通網形成計画②第

2期人口ビジョン・未来を築く総合戦略

**神田 泰孝**

①丸亀城「おすすめ写真ポイント」の案内②通学路街灯設置に代わる仕掛け③「安心キット（救急医療情報キット）」の活用④香川県救急電話相談『#7899』

**岡田 剛**

①離島振興

**多田 光廣**

①入札関連事項②スポーツ関連事項③安全・安心のまちづくり

**中谷真裕美**

①地区防災計画 協働の力で策定を②安全で豊かな学校給食・給食費無償化

**香川 勝**

①市とコミュニティの協働②議会と理事者答弁③非常時の通信手段

## 議会を見に来ませんか

次回の定例会は  
3月上旬に開会  
予定です。

本市議会では、定例会が3月、6月、9月、12月の年4回開催され、本会議は通常午前10時に開会します。

会議の当日、どなたでも傍聴できます。



## 業務の民営化に向けて



松永恭二議員



市役所の業務

人口減少、人手不足が深刻な局面を迎える中、市政も業務の官民分担の再検討が必要ではないか。民営化は単にコストの削減だけでなく、働き方、経営効率、限られた人材の適切な配置など、これからの国、地方自治体や社会の存続にとって欠かせないものであると考えるが、本市の現状はどうか。



**A**

**市長** 本年度は「業務改善プロジェクト」として、AIやRPAなど情報技術の活用が可能な業務を検討するほか、全庁的に民間活力の活用が検討できる業務を募るなど、既存の事務事業の中から民間のノウハウや労働力を活用できる

業務を模索している。また、ごみ収集運搬業務、学校給食センターの調理業務については民間委託の拡大に向け、協議を進めている。今後は検討及び協議が整ったものから順次、令和2年度以降の予算に計上していきたい。

## フレイル対策の現状は



武田孝三議員



元気いっぱい長生き体操

超高齢化社会を迎え、健康寿命を延ばすことが喫緊の課題となり、心身の衰えを早期に見つけるため、要介護になる前の状態「フレイル」が注目されている。フレイル対策により介護を要する年齢を遅らせることができれば本人や家族の生活の質を高めるだけでなく、介護給付費を抑える効果も期待される。本市の取り組みと効果について伺う。



**A**

**市長** 本市ではオーラルフレイル予防講座や認知症予防の運動教室のほか、フレイル予防として「元気いっぱい長生き体操」を実施している。理学療法士や保健師などが参加者ひとり一人に対し、筋力低下防止や生活への指導・助言を行うとともに、2年間で5回の体

力測定を行っている。体力測定では、椅子からの立ち上がりで73%、握力で51・1%の人が初回の数値を上回る結果となっている。事業を実施することで高齢者の体力や認知機能の維持・向上に一定の効果が見込めるものと考えている。

## ファミリーサポートセンターと児童館



大西 浩 議員

子供や家庭への社会的支援を充実させることで、子育ては楽しいと実感できる。子供を持つすべての家族が安心して子育てができるよう、ファミリーサポートセンターと児童館の事業内容や利用状況を説明いただきたい。



東小川児童センター

**A**

**市長** ファミリーサポートセンターは、育児に関する援助を行いたい人と受けた

い人の相互支援活動をサポートすることで、環境整備や児童の福祉向上を図り、地域の子育て力を高めることを目的としている。対象は生後6か月から小学校6年生までの児童で、昨年度の利用は、保育施設や習い事の送迎など約960件である。

児童館は、遊びによる子供の育成、子供の居場所の提供、子供が意見を述べる場の提供など国のガイドラインが示す8つの項目に沿った施設である。昨年度は、公民館や生涯学習センターとの複合施設も含め、延べ6万4108人が利用している。今後は支援活動の充実や質の向上に努めていく。



## 新市民会館建設への補助は



横田 隼人 議員

新市民会館建設の財源として、社会資本整備総合交付金は使えるのか。ほかに利用できる補助金はないのか。



市民会館建設予定地

**A**

**産業文化部長** 新市民会館は、社会資本整備総合

交付金の対象事業のうち、地域交流センターなどに該当する可能性がある。該当すれば、事業費ベースで21億円を上限に、最大でその半額が補助される。しかし、市民交流活動センターを地域交流センターとして既に申

請し、補助金も交付されることになっており、新市民会館は同じ機能を持つ施設とみなされ、申請しても該当しない可能性がある。

そのほかの補助金は、文化庁では劇場などのハード整備に関する補助メニューがないため利用できない。



## 亀寿園跡地の有効な活用を



国方功夫議員



現在の亀寿園跡地

中央保育所と西幼稚園の統廃合に当たり、現在の西幼稚園の場所に新こども園を建てようとする理由は何か。亀寿園跡地にも園を建設するなど、新しい発想で検討できないか。



**A**

**総務部長** 亀寿園跡地は、石垣復旧工事現場に近く、事務所や駐車場設置用地として十分な広さを確保できることから令和2年2月から令和6年3月まで、この土地を利用して事業を進めることとしている。工事終了後の効果的な利活用については、全庁的な観点か

**A**

ら検討を進めたい。  
**こども未来部長** 人口推計によると、西中学校区では今後5年間で未就学児が増加する予測となっている。大手町4街区構想など総合的に勘案し、現在の西幼稚園の場所でも中央保育所と統合した認定こども園を開園したい。

## 将来的な医療対策は



横川重行議員



過不足のない医療体制を目指す

団塊の世代が75歳以上となる2025年に向け、医療費の急増が見込まれる。厚生労働省によると、2025年度の病床数は121万8千床を見込み、地域医療構想で必要とされる119万1千床より2万7千床多いようだが、市の対策は。



**A**

**市長** 香川県地域医療構想によると、本市が位置する西部広域地区では、2017年の病床数5601床に対して、2025年の必要数は998床減少し、4603床となっている。病床数適正化の取り組み

みの推進に当たっては、医療に対するニーズや変化など、地域の実情を十分に踏まえるよう国や県に意見を述べていきたい。市にとって、効率的で不足のない医療体制・供給体制となるよう努めていく。

## 公共施設使用料を わかりやすく

Q



福部正人議員

公共施設の使用料は、受益者負担の原則に基づき、施設ごとに設定しているが、使用料の基本的な考え方、基本方針や設定基準を定め、負担の公平性や透明性をさらに確保すべきと考える。本市の考え方を整理し、公開してはどうか。



畦田キャンプ場

A

**総務部長** 公共施設の使用料は、受益者負担の原則に基づき、維持管理費の状況などを踏まえ施設ごとに決定している。使用料に関する市の考え方を統一的に整理した基本方針を策定し、公開することで、利用者との負担の範囲や役割が明確になり、公平性や透明性

の確保につながると考える。減免についても、施設の利用促進などにも効果を持つものであるが、過度な適用とならない運用が必要である。関係各課との調整や多方面からの意見聴取、他市の事例などを参考に研究を重ね、取り組みを進めたい。



## 土器川を 安全な河川に

Q



真鍋順穂議員

土器川の本川、支川全般を通じた、市民の安全・安心を担保する被害の未然防止のためについて、国、県との連携の実情を示していただきたい。



浸水対策工事の進む土器川

A

**市長** 国との連携は、土器川本川のハード面での防災・減災対策として、引き堤による堤防整備事業の用地買収や物件補償などを本市が担い、早期完成に向けた事業の進捗を国と共に図っている。ソフト面では、総合水防演習の実施や大規模氾濫に関する減災対策協議会に参加し、情報の共有化や防災意識の高揚に努めている。支川を管理する県との連携

は、現在進めている河川改修事業の早期完成に向けた要望を行い、流域の浸水被害の軽減に努めている。また、過去に越水している古子川では高津橋に設置された水位計により大雨時の水位監視をともに行っている。河川の水位情報を共有し、越水などの危険に備えるなど、ソフト、ハード両面から防災・減災対策に関して連携を図っている。



コミュニティバスの  
これからは



加藤正員議員



日常的な移動を担うコミュニティバス

Q

①コミュニティバスと鉄道との連携についての考え、以前から要望のあることでん利用者への割引特典導入への考えを伺う。②コンパクトなまちづくりと公共交通ネットワーク形成を目的とする地域公共交通網整備計画の策定スケジュールを伺う。



A

生活環境部長

①コミュニ

ニティバスは鉄道と地域間をつなぐ役割を果たしており、毎年、地域公共会議を開催して鉄道の時刻改正や地域からの要望をもとに運行の見直しを行い、利便性の向上に努めている。ことでん利用者への割引サービス導入は、経常的な財政負

担を伴うため、難しいと考えている。②アンケート調査などの結果を整理・分析し、来年3月を目標に基本方針や目標の設定を行うとともに、次年度では7月から8月ごろにかけてパブリックコメントを実施、速やかに計画の策定を行う予定としている。

安心キットで  
本当の安心を



神田泰孝議員



安心キット

Q

もしもの時の迅速な救急活動に役立てるため、かかりつけ医や持病などの情報をプラスチック容器に入れて保管しておく「安心キット」。社会福祉協議会が健康に不安のある人などに提供しているが、このキットの有無や登録情報を救急隊が事前に把握できる環境をつくることはできないか。



A

消防長

大規模災害時に

救急救助活動を支援するため、「避難行動要支援者情報登録制度」がある。個々の情報を通信指令システムに登録し、緊急時に利用できるようにするもので、昨年11月1日現在約2

9000人の登録がある。安心キットの情報についても、通信指令システムに登録すること、更なる有効活用が図れると考える。情報の共用に向け、今後社会福祉協議会など関係者と協議していく。

9000人の登録がある。安心キットの情報についても、通信指令システムに登録すること、更なる有効活用が図れると考える。情報の共用に向け、今後社会福祉協議会など関係者と協議していく。

## 本島中学校跡地の 利用計画は



岡田 剛 議員



本島中学校校舎

Q

本島小中学校の併設に伴い、中学校校舎はどうなるのか。長年、島民が要望している公共施設の建てかえや移転など、島の安全と安心に生かせるのではないかと。市の見解はいかがか。



A

**生活環境部長** 本島地区には老朽化や耐震性、立地などにより、利用者の安全性・利便性が十分ではなく、移転を含め改修などが必要な公共施設が複数ある。中学校跡地については、できるだけ島内公共施設の集約化を図るべきである。老

朽化が著しい本島市民センターや本島コミュニティセンター、消防団第7分団屯所、高台にあり、高齢者が通院時に負担となっている本島診療所の4施設の中学校跡地への移転整備を、早期実現に向けて進めていく。

## 総合運動公園 整備計画の現状は



多田光廣議員



丸亀総合運動公園の全景（平成26年度撮影）

Q

総合運動公園の整備計画に遅れが出ていると聞く。計画の遅れにより様々な弊害が生じるが、現状と今後のスケジュールをお聞きしたい。



A

**生活環境部長** 総合運動公園は、駐車場不足を解消するため、多目的広場の令和3年完成を目指して整備を進めている。全体の整備計画としては、市民体育館の老朽化やテニスコートの増設、未整備の競技用プールなど多くの課題があり、多方面へのヒアリングを進

めている。

今後、ヒアリングにあわせて運動公園の利用者を中心にワークショップなども開催し、来年度早期に市民アンケートを実施する予定である。その結果を分析、検討のうえ、来年度前半には全体計画の素案をお示ししたい。

## 安全で豊かな学校給食・ 給食費無償化へ

Q



中谷真裕美議員

①発がん性が強く疑われるグリホサートが輸入小麦から検出され問題となっている。本市の給食用パンも外国産小麦使用であり、食の安全を考え、米飯中心給食へと回数を増やすことを求める。②本市の学校給食には多くの市内産物が使われているが、さらに地場産物活用を進めるため、協力農家を増やす体制を求める。③現在の学校給食費は10年間据え置きで限界に近い。給食費無償化は市長の公約であり、まず給食費の値上げ分を一部補助することから始めるよう求める。



現在の学校給食

A

**教育部長** ①香川県は米飯の回数増加の方針だが、自治体の事情もあり、本市では米飯給食時の残菜が比較的多いことなどから現状を維持したい。②農林水産課や農業改良

普及センターと連携を強め、市内農家へ食材の生産を呼びかけていく。③無償化には継続的な財源確保が必要であり、今後とも関係各課と協議していく。

## コミュニティ活動と 市のかかわり

Q



香川 勝 議員

コミュニティは、地域住民が地域の課題を自ら解決するための組織であるが、以前市が担っていた政策立案や各種対応を、地域に丸投げしているのではないかと。活動に関する市のかかわりは。



力をあわせて まちづくりを

A

**生活環境部長** 本市のコミュニティは、安心して心豊かに暮らすことができる地域社会の実現に向け、地域の課題解決やまちづくりに自発的かつ主体的に取り組むことをその役割としている。市では、活動費用を運営補助金やまちづくり補助金として交付するとともに、各コミュニティでの自発的

な課題解決や地域の歴史や文化等の特色を生かした活動を今後とも支援していく。また、コミュニティ協議会連合会のプロジェクト会議への参加や地域担当職員の配置、地域コーディネーターの養成などにも取り組み、互いに足並みを揃えて、まちづくりに取り組んでいる。

# 委員会審査

各委員会の議案審査では、  
次のような質疑応答がありました。



## 総務委員会

### ■審査した議案

議案第70号中の関係部分、議案第75号、議案第76号から議案第81号まで、議案第86号、議案第87号

### 主な質疑

**Q 委員** 第11分団消防屯所整備の進捗状況と今後のスケジュールは。

**A 消防本部** 今年度、用地取得を行い、来年度に造成・建築工事、完成後の令和3年度に旧屯所を解体する予定としている。

**Q 委員** 行政組織条例等の一部改正により、図書館を教育委員会から市長部局へ移管する理由は。

**A 市長公室** 生涯学習の更なる充実を図るため、図書館機能を生涯学習と一体として拡充・強化することを目的としている。

**Q 委員** ポートレースまるがめ全国販売促進キャンペーン業務委託の開始時期と費用対効果は。

## 委員会審査

**A ポートレース事業局** 来年度1年間を通し、主に全国の電話投票ファンに対してPRしていく。売り上げ目標として、来年度5月の「レディイスVSルーキーズ」ほか5レースで今年度と比べて20億円の増収を目指す。

### 審査結果

付託された10議案は、すべて原案可決とした。

## 教育民生委員会

### ■審査した議案

議案第70号中の関係部分、議案第73号、議案第74号、議案第89号、議案第90号

### 主な質疑

**Q 委員** 綾歌健康づくりふれあいセンターは、高齢者の利用が減り、畦田キヤンプ場などは若者の利用が増えている。施設を有効に活用するため、福祉施設という位置づけを再検討する必要があるのではないか。

**A 健康福祉部** 施設の老朽化も進み、今後のあり方を検討する

際にはキヤンプ場などとの関連性も含め、検討が必要であると考える。

**Q 委員** 東小川児童センター及び飯山東小川公民館の指定管理料の算定内訳は。

**A こども未来部** これまでの指定管理料をもとに、児童センターを約1083万円、公民館を約529万円と精算し、使用料収入の見込み額を差し引いた額を1年間の指定管理料として算定している。

**Q 委員** 図書館の窓口業務・移動図書館車運行委託料のうち、研修費とイベント費用の内訳は。

**A 教育部** 研修費を年間15万円、イベント費用を年間18万円としている。

### 討論（議案第70号）

図書館業務の市長部局への移管が予定され、図書館運営のあり方をこれから検討する段階で、来年度以降3年間の業務委託を決めようとするのが理解できないので、反対する。

### 審査結果

議案第70号は挙手採決の結果

果、賛成多数により原案を可決し、付託されたその他の議案も、すべて原案可決とした。

## 都市環境委員会

### ■審査した議案

議案第70号中の関係部分、議案第71号、議案第72号、議案第82号から議案第85号まで、議案第88号、議案第91号から議案第94号まで

### 主な質疑

- Q 委員 新しい飯野コミュニティセンターの授乳室は、どういった設備になるか。
- A 生活環境部 ポットなど備え付けのものはないが、給湯室にカーテンで仕切ることができスペースを設け、調乳を要する方が利用できるよう整備する。
- Q 委員 猪熊弦一郎現代美術館の今後の運営方針やあり方は。
- A 産業文化部 本市の文化芸術の中核施設として、その振興を図り、気軽に市民が集える場所であること、地域における普及活動を主体的に実施する場所であること、また文化芸術を手段として総合施策の一翼を担う施設であることを基本に、今よりも開かれた美術館を目指したい。

あること、また文化芸術を手段として総合施策の一翼を担う施設であることを基本に、今よりも開かれた美術館を目指したい。

## 議案質疑

### なぜ図書館を市長部局に移管するのか

- Q 小橋議員 9月議会で「学校図書館と市立図書館は同じ組織に属しており、円滑に連携できている」との答弁があったが、来年度、本当に移管してよいのか。また、図書館を生涯学習の拠点施設として位置づけているのはどういった考えからか。
- A 市長公室長 図書館は個人の興味、関心を深め、学びを支える社会教育施設であり、その成果を地域へとつなげる役割を担う生涯学習の拠点施設の一つである。今回の機構改革では、ほかの行政分野との連携も踏まえ、生涯学習の推進体制の充実強化を目指し、市長部局へ移管するものである。

### 審査結果

付託された12議案は、採決の結果、すべて原案可決とした。

議案の疑問点について、3名の議員が聞きました。

### 職員給与の推移は

- Q 横田議員 今回の人事院勧告に従えば、6年連続アップとなる。若い職員、特に5級以下が対象となるが、その職員数と増額となる人件費の総額はいくらか。また、過去5年間で人事院勧告によって何%、総額でいくらアップしたのか。
- A 市長公室長 今回対象となる職員は384人。人件費は約2670万円を見込んでいます。過去5年間の増加率は、給料月額が平均0・87%、勤勉手当が累積で年間0・4月分増加していることから、毎年度影響額を単純に合計すると、共済費負担金などを含めた人件費総額として約2・8%、1億9200万円の増加となる。なお、この

### 適切な社会教育の担保措置は

- Q 中谷議員 図書館の所管を教育委員会から市長部局に変更する提案だが、首長部局への図書館移管は、社会教育行政の衰退を招く恐れがあると指摘されている。移管する目的は何か。また、社会教育教育を適切に実施するために、何を担保されるのか。
  - A 市長公室長 生涯学習課の新設にあたり、生涯学習の拠点施設である図書館も市長部局に移管し、体制の強化と充実を図りたい。
- 市長部局に移管しても、引き続き社会教育施設であることから、総合教育会議や図書館協議会との連携を図るとともに、政治的中立性を確保していく。

# 議会の動き 7・8・9・10・11・12月

- 7月**
- 1日 総務委員会視察(3日まで)
  - 8日 都市環境委員会視察(10日まで)
  - 11日 広報広聴委員会  
教育民生委員会協議会
  - 22日 教育民生委員会視察(24日まで)
  - 25日 総務委員会協議会
  - 26日 議会運営委員会
  - 31日 広報広聴委員会視察(8月2日まで)
- 8月**
- 7日 子ども議会
  - 19日 各派会長  
教育民生委員会協議会
  - 21日 総務委員会視察
  - 22日 都市環境委員会視察
  - 23日 議会運営委員会
  - 24,25日 議場見学会
  - 26日 全員協議会  
丸亀城復旧復興特別委員会
  - 30日 全員協議会
- 9月**
- 2日 本会議(~10月4日まで)  
市民会館整備特別委員会  
市庁舎等整備特別委員会
  - 4日 議会運営委員会
  - 5日 総務委員会  
教育民生委員会  
総務委員会協議会

- 9月**
- 6日 教育民生委員会協議会  
都市環境委員会  
都市環境委員会協議会
  - 18日 丸亀城復旧復興特別委員会  
広報広聴委員会
  - 19日 各派会長  
決算特別委員会
  - 20日 決算特別委員会
  - 24日 決算特別委員会
  - 25日 決算特別委員会
  - 26日 決算特別委員会
- 10月**
- 3日 教育民生委員会協議会
  - 4日 議会運営委員会  
全員協議会  
総務委員会協議会
  - 9日 市庁舎整備等特別委員会視察
  - 10日 教育民生委員会協議会
  - 15日 丸亀城復旧復興特別委員会
  - 24日 議会運営委員会  
各派会長
- 11月**
- 1日 議会報告会街宣活動
  - 7日 全員協議会  
議会報告会・意見交換会  
(都市環境委員会)

- 11月**
- 8日 議会報告会・意見交換会  
(総務委員会)
  - 18日 議会報告会・意見交換会  
(教育民生委員会)
  - 19日 丸亀城復旧復興特別委員会  
全員協議会
  - 20日 議会報告会・意見交換会  
(教育民生委員会)
  - 21日 議会運営委員会
  - 29日 教育民生委員会協議会
- 12月**
- 2日 本会議(~19日まで)
  - 6日 各派会長
  - 10日 広報広聴委員会
  - 11日 総務委員会  
総務委員会協議会  
都市環境委員会  
都市環境委員会協議会
  - 12日 教育民生委員会  
教育民生委員会協議会  
総務委員会協議会
  - 13日 議会運営委員会
  - 17日 総務委員会協議会
  - 19日 全員協議会  
市民会館整備特別委員会
  - 26日 教育民生委員会協議会

## 他市視察受け入れ

他市の議員、職員が本市の施策を視察しました。

- 7月1日 山口県下関市議会  
「丸亀ボートレース場」
- 7月3日 東京都小平市議会  
「川西地区の防災まちづくり活動」
- 7月9日 沖縄県嘉手納町議会  
「川西地区の防災まちづくり活動」
- 8月1日 愛知県津島市議会  
「生活困窮者自立支援事業」
- 8月23日 鹿児島県鹿児島市議会  
「レクザムボールパーク丸亀(丸亀市民球場)」
- 8月29日 香川県議会  
「史跡丸亀城跡における文化財の保存と活用を両立させた取り組み」
- 10月8日 山梨県富士吉田市議会  
「地域住民による特色を生かしたまちづくり『住みたくなるまち土器』」
- 10月8日 佐賀県神埼市議会  
「自主防災組織」
- 10月9日 群馬県藤岡市議会

- 10月10日 熊本県議会  
「レクザムボールパーク丸亀(丸亀市民球場)」
- 10月16日 千葉県野田市議会  
「行政評価」
- 10月17日 東京都稲城市議会  
「丸亀市の観光、スポーツツーリズム」
- 10月18日 神奈川県小田原市議会  
「地域コミュニティのまちづくり」
- 10月23日 千葉県佐倉市議会  
「まちづくりのための道づくり(丸亀市道路整備プログラム)」
- 10月24日 千葉県印西市議会  
「子育てアプリまる育サポートに」
- 10月25日 静岡県焼津市議会  
「コミュニティによるまちづくり」
- 10月29日 埼玉県羽生市議会  
「防災まちづくり活動」

- 10月29日 北海道稚内市議会  
「丸亀市スポーツ振興ビジョン」
- 10月29日 愛知県刈谷市議会  
「議会改革」
- 10月30日 愛知県蒲郡市議会  
「地域学校協働活動」
- 10月31日 長野県松本市議会  
「地域担当職員制度」
- 11月1日 兵庫県川西市議会  
「地方再生コンパクトシティの取り組み」
- 11月6日 鳥取県米子市議会  
「丸亀市川西地区の防災まちづくり活動」
- 11月13日 福岡県太宰府市議会  
「丸亀げんきっ子夢プラン」
- 11月14日 滋賀県議会  
「ボートレースまるがめ(丸亀ボートレース場)」
- 11月15日 栃木県小山市議会  
「高齢者運転免許自主返納支援事業」
- 11月26日 青森県弘前市議会  
「AR事業」

# 桜よ育て! 友好を祝して!!

10月28~31日

張家港市との友好都市締結20周年を祝し、議会から代表が訪問



①

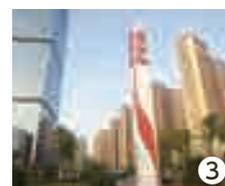
## 訪問団おもな日程

- 28日16時 高松空港発 上海泊
- 29日午前 張家港市へ  
午後 記念式典 張家港市泊
- 30日午前 張家港市第二中学、永聯村  
など視察 移動し上海泊
- 31日朝 高松空港へ

中国・張家港市との友好都市締結20周年を祝し、市長を団長とする親善交流団が同市を訪問。議会からも6議員が参加しました。これからのさらなる友好に向けて、調印や記念植樹を行い、交流を深めました。



②



③

①鑑真東渡記念館で植樹②式典で記念撮影③大都會の姿④永聯村議場⑤第二中学で授業見学⑥沙洲湖からの眺め

人口や面積、歴史、文化などが全く異なる両市。交流を重ねることで、その距離は縮まります。これからも着実に、平和につながる民間交流の絆を強くしていきたいと思えます。



④



⑤



⑥

## 議員提出議案第1号 丸亀市議会議員定数条例の一部改正

### 賛成多数で可決

議員18名から、議員定数の削減が提案され、本会議での討論の後、賛成多数で可決しました。

これは、丸亀市の今後を見据え、さらなる市民サービスの向上を目指していく中で、議会にできることを検討した結果、自らが率先して議員定数を減らし、行政の効率的な運営や予算運用を促すとともに、本市議会基本条例が定める「議会の政策立案」の活発化につながるよう提案されたものです。この議案が可決されたことにより、次回的一般選挙から議員定数は現在の25人から24人に変更となります。

#### 《反対討論》

中谷真裕美

議員提出議案第1号「丸亀市議会議員定数条例の一部改正につ

いて」に反対

**理由** 議員を減らせば住民の声を市政に反映しづらくなる。費用弁償や個人研修費を減額するなど、他の有効な方策を講じるべきである。

#### 《反対討論》

大西 浩

議員提出議案第1号「丸亀市議会議員定数条例の一部改正について」に反対

**理由** 議会は市民の代表として審議決定する場であり、多様な意見を反映させることが求められる。議員が少ないと偏った意見になりかねないため、議会の力が高まる定数を、市民とともに考えるべきである。

#### 《賛成討論》

横田 隼人

議員提出議案第1号「丸亀市議会議員定数条例の一部改正について」に賛成

**理由** 待機児童の解消や、各種の事業推進に向けて責任ある対応が求められている。また、今後の人口減少に備え、持続可能な行政体を目指すべき。

みんなの努力で、1名の減は十分にカバーできる。

令和元年12月定例会

### 賛否が分かれた議案の審議結果

議員名 ( )内は所属会派	議案名	審議結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	
			武田 孝三 (志政会)	竹田 英司 (会派無所属)	東 由美 (会派無所属)	中谷真裕美 (会派無所属)	神田 泰孝 (会派無所属)	岡田 剛 (会派無所属)	大西 浩 (市民クラブ)	香川 勝 (志政会)	三宅 真弓 (会派無所属)	川田 匡文 (志政会)	真鍋 順穂 (志政会)	松永 恭二 (志政会)	多田 光廣 (会派無所属)	横田 隼人 (志政会)	小橋 清信 (志政会)	横川 重行 (市民クラブ)	松浦 正武 (市民クラブ)	加藤 正員 (市民クラブ)	山本 直久 (志政会)	大前 誠治 (志政会)	福部 正人 (公明党)	内田 俊英 (公明党)	水本 徹雄 (市民の声)	国方 功夫 (市民の声)	片山 圭之 (市民の声)	
議案第70号	令和元年度 丸亀市一般会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第76号	丸亀市行政組織条例等の一部改正について	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第79号	丸亀市市長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第81号	丸亀市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案第1号	丸亀市議会議員定数条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○

議員提出議案  
審議結果

議長は採決に参加しません

○は賛成、×は反対です。

※上記以外の議案はすべて全会一致で原案を可決しました。

# 丸亀城石垣復旧を市民の皆さまと共に

丸亀城復旧復興特別委員会

## 本格復旧工事開始

昨年10月石垣崩落復旧整備事業安全祈願祭が執り行われ、本格工事が開始されました。

これまで地質調査が行われ、現在は三の丸石垣解体工事を行っております。今後の予定ですが、来年度には崩落した石垣の回収工事と帯曲輪石垣の解体工事を、令和3年度に帯曲輪復旧工事、令和4年度から5年度にかけて三の丸石垣の復旧工事を行うこととなっております。

市議会特別委員会では、随時市から報告を受け、協議しながら一日も早い復旧復興に努めたいと思っております。

市民の皆さまにおかれましては、引き続き応援いただけますようお願いいたします。



令和元年度の工事



令和2年度の工事

## PR館オープン

昨年12月12日、丸亀城石垣崩落復旧整備事業PR館オープニングセレモニーが行われました。丸亀城石垣復旧の情報発信拠点として、工事概要やスケジュールの掲示のほか丸亀城の歴史や石工の道具、出土品などの展示をしております。また、屋上には展望デッキがあり、復旧現場を間近に見学できます。



展望デッキよりお城を望む



PR館

## 安全祈願祭

昨年10月3日、工事関係者の参列のもと安全祈願祭が執り行われました。



城内観光案内所にて  
ゴトプラ好評発売中

